

令和2年度

## 実施状況管理シート（作成日：R 3.3.19）

作業部会名	・在宅医療部会	事務局	・佐渡市在宅医療推進センター
部会リーダー	・佐渡医師会 小野素一	サブリーダー	
担当理事	・佐渡歯科医師会 児玉理事（代表）・佐渡薬剤師会 金子理事（副代表）・佐渡医師会 中山会長		
作業部会 構成員	① 在宅医療推進センター                      ② 病院代表者 ③ 診療所代表                                      ④ 歯科診療所代表者 ⑤ 保健薬局代表者                              ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ リハビリ関連代表者                      ⑧ 介護支援専門員代表者 ⑨ 居宅・通所・入所介護代表者              ⑩ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑪ 佐渡市 高齢福祉課		
部会中の 会議体	・新在宅WG		
目標 (ゴール設定)	・「在宅」を入院外（居宅・介護施設等）と捉え、佐渡における在宅医療の基礎を構築する。		
具体的な 作業内容	① 通院負担を減らして在宅での生活機能を保つ方策を検討。 ② 退院前生活指導の標準仕様を作成。 ③ 在宅医療へつなぐ様式の標準化。 ④ 退院後の状態評価の用紙の標準化。 ⑤ 退院後に指導内容を継続できているか確認する体制の構築。 ⑥ 緩和ケア等の継続と効果を評価する体制の構築 ⑦ 各施設のサービス・機能・受入可能数の一元管理、調整利用の構築。 ⑧ 在宅看取りについて&エンディングノート「ゆいノート」		
年間 計画	令和2年度	<b>【目標】</b> ・実証試験（試行、プランの見直し、運用の再構築）及び検証	
	令和3年度 以降	<b>【目標】</b> ・ハイブリッド形式（参集とオンラインの同時開催）にて部会・WGの継続的な開催 ・過去の課題を実現するための方策と新たな問題点を探り検討・対応	

<p>進 捗 状 況 管 理</p> <p>(令和2年2月 ～ 令和3年2月まで)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から部会・WGとも開催が出来ない状態が続いたが、12月にハイブリッド形式（参集とオンライン〔Zoom〕での同時開催）にて感染対策を講じて部会とWGを同時開催し、2月にも同方式にて2回目のWGを開催した。</p> <p>WGについては令和2年度より、これまでの在宅WGと入退院WGを効率的に進めることを目的の一つにまとめ、「新在宅WG」として再スタートした。</p> <p>第1回在宅医療部会・新在宅WG（2020/12/15）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで入退院WGで取りまとめてきた「佐渡において理想の入退院支援を実現するための提言書」について、在宅医療部会で承認を得た後、医療介護福祉連携部会へ提出し、活用方法についての協議の依頼。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による医療・介護・福祉のそれぞれの現場での影響について、情報交換を行った。</li> <li>・医療・介護・福祉に携わっている有志による「いか福@Sado」の立ち上げ及び活動の紹介。</li> </ul> <p>第2回新在宅WG（2021/02/17）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続の対応課題となっている医療用麻薬使用者の施設受け入れと「ゆいノート」の活用方法の取り組みについて、進め方を協議。</li> <li>・新型コロナワクチンの接種計画について、現段階での情報共有。</li> <li>・新型コロナへの対応について、他の離島（宮古島）の事例の紹介。</li> </ul>
---	--